

# 学校だより

横浜市立大池小学校

5月号

平成22年4月28日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/oike/>

## 大池小学校 40歳おめでとう

学校長 深山 喜美子

今年の春は、正門側やプール側のサクラに続き4月半ばまで池のそばの八重桜の美しさを味わうことができました。職員室前のフジも、ようやく開花しました。

さて、大池小学校は今年40歳になります。そこで4月26日は、5月2日の開校記念日の講話として第13代PTA会長の森 一紀様に、40年前学校ができた頃の様子をお話ししていただきました。当時の地図や貴重な写真も見せていただきました。子どもたちにとっては、初めて知ったことも多く興味深いお話でした。閉校に向けて特色ある教育活動の一つとなりましたので、このお話をきっかけに子どもたちが自分たちの住むまちや学校について、もっと関心を持ち大好きになって欲しいと思います。

大池小学校の歴史は、創立10周年、20周年、30周年のそれぞれの記念誌に詳しく載せられています。子どもたちにとっては、記念誌から当時のことを知ることができますが、その当時をご存じの方から直接お話ししていただくことにより、より一層関心をもって学ぶことができます。また、お話をしてくださった方と良いつながりを持つことができます。このまちの中で育つ子どもたちです。たくさんの方とのつながりを大切にしたいと思います。今年度は、学年に応じて学校のことやまちのことを調べてお互いに伝え合う学習を進めていきます。子どもたちが情報収集のために、地域の皆様にお世話になる機会が多くなることと思います。ご協力いただくと大変嬉しく思います。

新学期が始まって1か月がたち、1年生も学校生活に慣れてきました。先日は、2年生が1年生をつれて「学校たんけん」をしました。校長室のドアの前で小さな声で「ここは校長先生のお部屋だよ。」と教えている声が聞こえてきました。さすが2年生はお兄さんお姉さんとしての役割を果たしています。とても微笑ましく思うと同時に、相手のことを大切に思う気持ちが伝わってきて、とても嬉しくなりました。シールを貼ってもらった1年生が、2年生に「ありがとう」と言えました。この小さな積み重ねが大切なのです。挨拶や友達への優しさは、自分からできることが一番良いのですが、他の人からしてもらった心地よい嬉しい経験がきっかけとなり、自分からできるようになることにもつながります。

より良い人間関係づくりに向けて、今年度も温かく気持ちの良い挨拶から始めているところです。

学校では、5月29日に向けて運動会の練習が始まります。子どもたちと共に創り上げていく大池小最後の運動会です。子どもたちが一生懸命頑張る姿やお互いに助け合い励まし合う姿など、いろいろな場面で子どもたちの良さが発揮されます。保護者の皆様、地域の皆様の温かなご声援とご協力をよろしくお願いいたします。

### 読書活動充実に向けて

今年度も、週2回の朝読書や読み聞かせなど、子どもたちと本との出会いや活用を工夫しながら読書の日常化をめざしています。さて、昨年からは始まった保護者の皆さんによる図書ボランティアの活動も、図書室の環境整備を中心にして進んでいます。季節の飾り付けや本の修理など、子どもたちが笑顔で図書室を利用できるように、毎月第2火曜日に活動しています。今年度は学校図書館活性化推進校となり、ボランティアの皆さんと共に子どもたちの読書活動充実に向けて活動していきます。

### 教職員・学生ボランティアの紹介

4月号で紹介できなかった教職員です。よろしくお願いいたします。

非常勤講師 富山 節子

AET (派遣英語講師)

ジェーン ロフトハウス

スクールソーシャルワーカー

佐藤 文彦

学生ボランティア (横浜国立大学)

植松 夕佳 谷本 花衣

木村 愛里

### 大池小学校閉校事業について

締めくくりの1年となる今年度の取組について、4月15日に地域の方やPTA代表の方々と、閉校事業について話し合いをもちました。上白根連合自治会会長の中野保弘様に実行委員長をお願いしました。地域・PTA・学校が一つになって、開校以来本校に携わったたくさんの方々に感謝しつつ、子どもたちと一緒にみんなで大池小学校に「ありがとう・さようなら」を伝えることとなりました。感謝の会は、2月26日(土)を予定しています。詳細が決まりましたら、皆様にお知らせします。

